

新たな水産基本計画の論点

平成29年2月2日

水産庁

I 「浜プラン」を軸とした漁業・漁村の活性化

- 浜プラン、広域浜プランの着実な実施とそれに伴う人材の育成、水産資源のフル活用
 - 浜プラン・広域浜プラン
 - 競争力のある漁業経営体の育成とこれを担う人材の確保
 - 新規就業者の育成・確保
 - 資源管理・収入安定対策の推進
 - 海技士等の人材の育成・確保と水産教育の充実
 - 外国人技能実習制度の円滑な実施
 - 魚類・貝類養殖業等への企業の参入
 - 水産業における女性の参画の促進

- 我が国国内の資源管理の高度化と国際的な資源管理の推進
 - 資源特性、分布や利用状況に応じた資源管理の基本的な考え方や方向性
 - 資源管理指針・計画体制の推進
 - 数量管理等による資源管理の充実
 - 適切な資源管理措置の基礎となる資源評価の精度向上と理解の醸成
 - 資源管理のルールの遵守を担保する仕組みの推進
 - 海域や魚種ごとの国際的な資源管理の推進
 - 捕鯨政策の推進
 - 漁場環境の保全と生態系の維持

➤ 活力ある漁業・養殖業の確立

- 沿岸漁業
- 沖合漁業
- 遠洋漁業
- 漁業と親水性レクリエーションとの調和
- 養殖業
- 内水面漁業・養殖業
- 栽培漁業・さけますふ化放流事業

➤ 加工・流通・消費・輸出に関する施策の展開

- 多様な消費者ニーズをとらえた新商品開発を含む商品供給の取組
- 消費者等に対する産地情報伝達の仕組み
- 新技術・新物流体制の導入等による産地卸売市場の強化と生産者・消費者への利益の還元
- 我が国水産物の輸出拡大戦略の強化

➤ 漁港等の総合的整備

- 水産業の競争力強化と輸出促進
- 豊かな生態系の創造と海域の生産力向上
- 大規模自然災害に備えた対応力強化
- 漁港ストックの最大限の活用と漁村の賑わいの創出

➤ 多面的機能の発揮の促進

Ⅱ 漁業・漁村の活性化を支える取組

- 水産業における調査・研究・技術開発の戦略的推進
 - 資源管理・資源評価の高度化に資する研究開発
 - 漁業・養殖業の競争力強化に資する研究開発
 - 漁業環境の保全・修復、インフラ施設の防災化・長寿命化に資する研究開発
 - 水産物の安全確保、加工・流通の効率化に資する研究開発

- 漁船漁業の安全対策の強化
 - 漁船事故の防止
 - 労働災害の減少

- 渚泊等漁村と観光業の連携の推進

- 漁協系統組織の再編整備等
 - 漁業者の所得向上に向けた浜プラン等における漁協の役割
 - 漁協系統組織の経営・事業基盤強化
 - 漁協系統組織における人材育成、女性・青年の活躍
 - 漁協系統組織におけるコンプライアンスの確保

- 融資・信用保証等の経営支援の的確な実施

Ⅲ 東日本大震災からの復興

- 着実な復旧・復興
- 原発事故の影響の克服
 - 安全な水産物の供給と操業再開に向けた支援
 - 風評被害の払拭
 - 原発事故による諸外国・地域の輸入規制の撤廃・緩和

Ⅳ 水産物の自給率目標

- 自給率目標等の達成に向けたこれまでの取組の検証
- 自給率目標の考え方
- 漁業生産、水産物消費に関する課題
 - 漁業生産に関する課題
 - 水産物消費に関する課題
- 自給率目標の基礎となる生産量、消費量の目標の考え方
- 水産物の自給率目標
 - 食用魚介類
 - 魚介類全体
 - 海藻類